

体協スポーツニュース

2007年9月号

編集・発行
 特定非営利活動法人塩釜市体育協会
 〒985-0075
 宮城県塩釜市今宮町9-1
 TEL 022-362-2101
 FAX 022-362-1099
 URL <http://www.c.marinet.ne.jp/~npostk-p>
 メールアドレス
 塩釜市体育館 npostk-t@c-marinet.ne.jp
 塩釜市温水プール npostk-p@c-marinet.ne.jp

第3回世界シニアバドミントン大会

シヤトルに掛けた春!



メダリストの証

すでに新聞各社の報道ですっかり有名ではありますが、去る4月24日から29日までの6日間、台北の台北市総合体育館にて「第3回世界シニアバドミントン選手権大会」が開催され、当塩釜市体育協会職員の高田昌子さんが出場し堂々の第3位を獲得。見事メダリストとなり帰国しました。

おおよそ体育施設があるはずもない街中に位置する台北市総合体育館には、世界20ヶ国から集まった選手のうち、日本は前回のマレーシア大会35名を上回る56名が参加。バドミントン普及のため世界レベルの選手に参加を呼びかけた為、元国家代表クラス選手が集結し、更にレベルアップ。しかし意外にもトップ選手を相手に無名選手が力を発揮し、打ち負かしてしまう場面もありと、熱戦が繰り広げられました。そんな中、日本代表は23個のメダル獲得という輝かしい成績を修めました。



イングランド選手&台北役員と共に



台北体育館にて

当塩釜市体育協会職員 高田昌子さん
 「世界大会に出場するとは、夢にも思いませんでしたが、周りの皆さんの後押しで貴重な体験をすることができました。今後はもっと楽しみながら出来るところまで続けていきたいです。この場をお借りして皆さんに…ありがとうございました。」

これは裏話ですが…高田さんが大会への出場を決めたのは、申込締切のまさに数日前。「目の前のチャンスを逃す手はない。でも時間もないし仕事もあるけど…」
 でも、すべての問題をクリアしてからの行動は早かったです(笑)。出場を決めた高田さんは、大会に向け可能な限り練習を重ね、心身共に調整を行いました。その結果がメダルの獲得へと繋がったと言っても過言ではないでしょう。

高田さん 世界第3位、おめでとうございませぬ。

夏休み!! みんなで学ぶ防災キャンプ!!

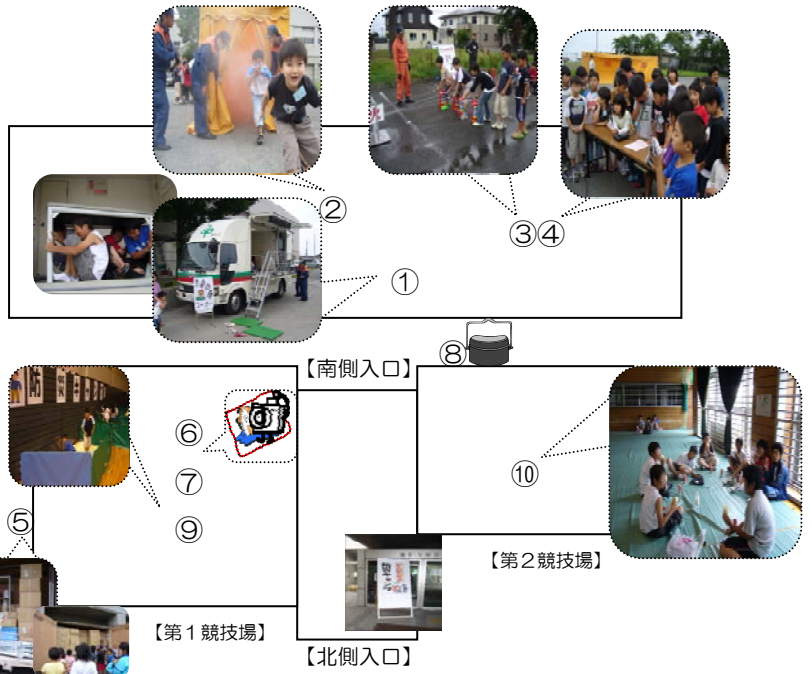
7月30日~31日

目黒区立目黒小学校



相次ぐ震災や水害。防災に対する関心も高まっている昨今ですが、私たちは「いざ!」という時どのように対処したらよいのでしょうか。チリ津波や宮城県沖地震。それぞれを経験している塩釜市でも日が経つごとに災害に対する恐怖感・悲惨な光景すら記憶から薄れつつあります。その「いざ!」に備え、夏休みを利用した体験型事業を(宿泊形式)当体育館競技場及び駐車場にて行いました。起震車輦での揺れの体験・煙を充満させたテント内の避難方法などを企画、実施しました。日帰り体験者を含め参加者数総勢 109 名。

- ①起震車輦 ②煙体験 ③消化器体験 ④119(通報)体験 ⑤備蓄倉庫見学
 ⑥ビデオ上映 ⑦防災パネル展 ⑧炊き出し ⑨就寝所 ⑩夕食・朝食



駐車場での各種体験後、開講式を行った第1競技場へ戻り消防署員指導の元救急法を学びました。毛布や竹等身近にある物で担架を作ったり、三角巾を用い互いに止血し合うなど、協力することの大切さも学んだようです。

夕食は非常食用のアルファ米を使ったカレーライス。いささか「固めだった」との本音もちらり。夜は災害ビデオを観賞後就寝。床にタオルケットを敷いただけの寝床なので、寝苦しかった…と言うものの皆屋間の疲れのせいか12時にはzzz。翌日は6時に起床し、パンと牛乳で朝食を済ませ各自の生活へ戻りました。実際災害が起きた時、もっと大変な状況となるはず。しかしこの体験が少しでも役に立てば、この企画が活きたものとなると思います。参加者の皆さんお疲れ様でした。